

日にち 令和6年6月5日(水)

場所 総合福祉会館サンライフさかほぎ(会議室ほか)

調査事項① 民生委員・児童委員、主任児童委員との意見交換について

調査内容

サンライフさかほぎにおいて、上記各委員との意見交換会を実施しました。最初に民生委員児童委員協議会浦田会長より「委員の構成や活動内容について」詳細な説明を受けました。その後、2グループに分かれてワークショップ形式で意見交換を行い、最後に各グループのまとめを発表しました。民生委員さんから、活動の中で悩まれていることや相談の内容について直接お話をお聞きすることが出来ました。



意見・要望

- 民生委員・児童委員からは、行政及び学校等との連携に対する意見や「こども110番の家」の標識の確認と撤去、通学路の除草、深萱及び大針の通学時のトイレの確保等個別の意見が出された。担当課におかれては、できる限りの対応を図られたい。
- 民生委員のなり手不足や民生委員と行政、学校等関係機関との連携についての課題も出された。より一層の情報共有や密接な関係構築にご尽力されたい。

調査事項② 坂祝町社会福祉協議会の実施事業等について

調査内容

最初に令和5年度事業・決算報告及び令和6年度事業計画について説明を受けました。その後、館内を視察しチャレンジ就労体験事業の様子を直接見させていただきました。

同事業では、これまで61名のうち38名が就労に繋がったとのことでした。



意見・要望

- 町社協の現在の経営状況は健全であると報告を受けたが、一方で若い世代の人員不足は慢性化しており、本年度の介護報酬改定では、報酬額の基となる単位数が、身体介護、生活援助ともに2～3%の減少となり、事業所では人件費などの費用を抑えざるを得ず、ますます人材を集めることが難しくなるのではないかと懸念します。人員不足により土曜開館へも影響があることも分かった。
- 一般浴の利用について課題があるため、行政とも協議をしながら今後の運営を検討されたい。